

連携についておもうこと



望月 謙一(取締役・理学療法士)

有限会社 在宅支援チーム フォーレスト

フォーレスト在宅支援ステーション

フォーレスト居宅介護支援事業所

フォーレスト訪問看護ステーション

フォーレスト福祉用具貸与事業所

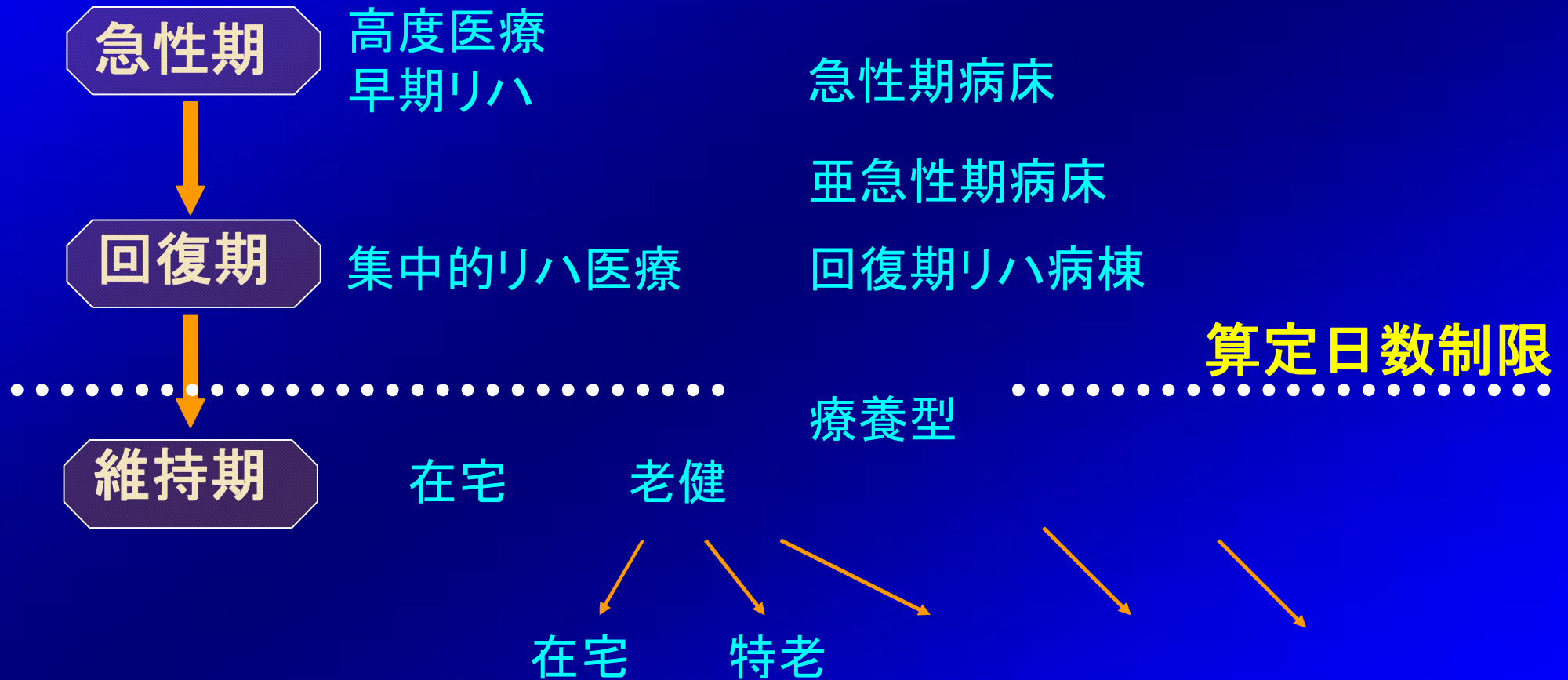
I 連携の必要性

I 連携の必要性

① 医療制度

医療施設の専門分化・役割分化・機能分化

専門分化・役割分化・機能分化



分化はますます進む

課題：役割を踏まえて特化
淀みない流れ
連携

重要性は今後も更に！

I 連携の必要性

② 多職種のかかわり

多職種のかかわり

生活での実践

機能・動作改善

環境整備・適応

介助方法

排泄チェック表

オムツ・パットの種類

パットの当て方

オムツ・パット交換時間

誘導時間

しぐさ

問題行動

ケアプラン・サービスプラン

みんなとの話合い

本人との話合い

家族との話合い

薬副作用チェック

導尿(評価・間欠・留置)

薬処方

便の固さ

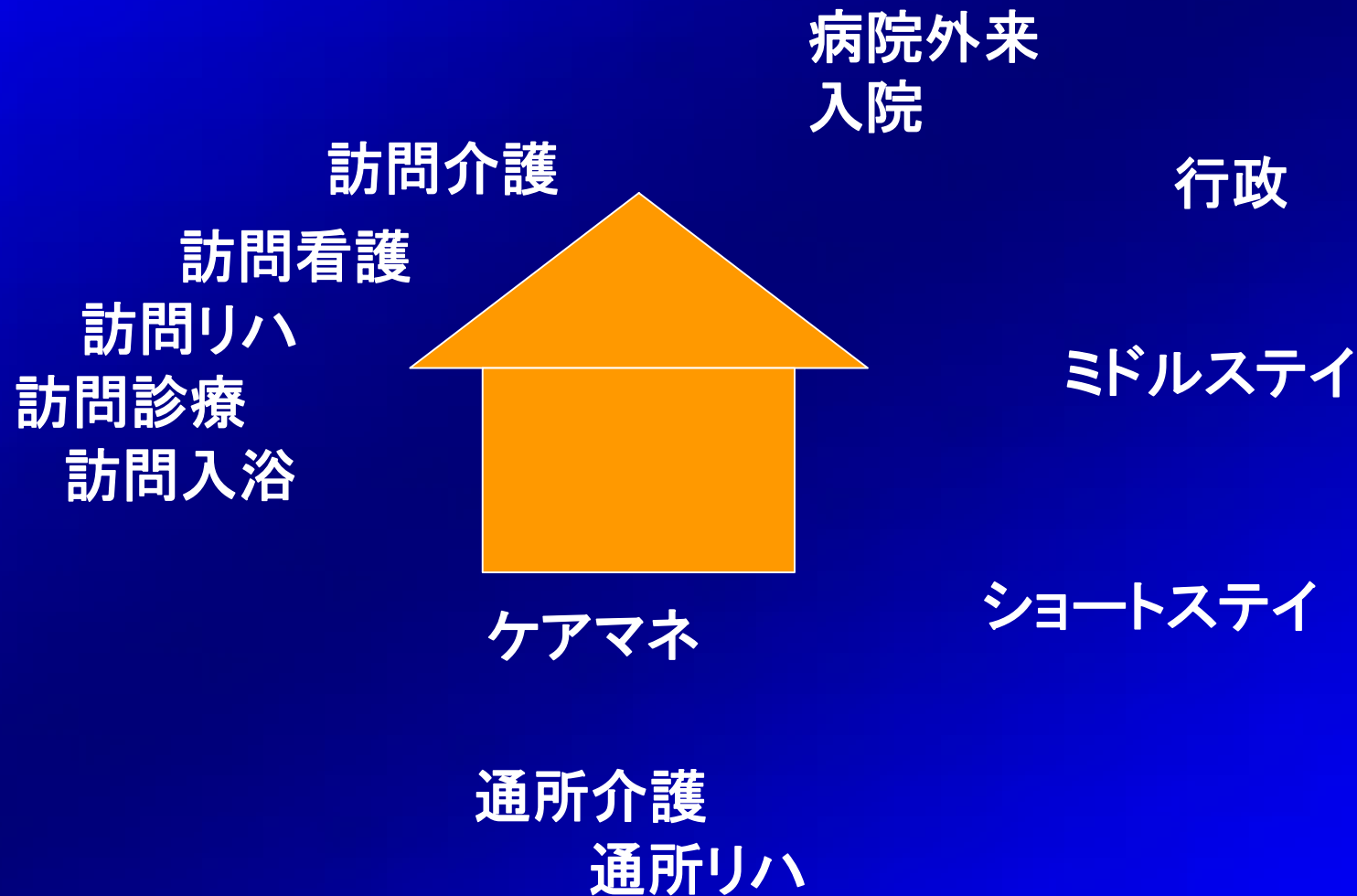
排便時間

排泄

I 連携の必要性

③ 多事業所のかかわり

主な在宅支援サービス



I 連携の必要性

- ① 医療施設の専門分化・役割分化・機能分化
- ② 多職種のかかわり
- ③ 多事業所のかかわり

専門に特化



専門の表裏として限られた一部分



前提！：自分だけ自分達だけでは成しえない
みんなと一緒にやっていく



Ⅱ 連携に必要なこと

Ⅱ 連携に必要なこと

① 疾病・障害モデル と 生活モデル

セラピストの皆様へ

「生活をつくり支える」

ケアプラン・サービスプラン

機能・動作改善

環境整備・適応

介助方法

排泄チェック表

オムツ・パットの種類

パットの当て方

オムツ・パット交換時間

誘導時間

しぐさ

問題行動

生活の実践

みんなとの話合い

本人との話合い

家族との話合い

薬副作用チェック

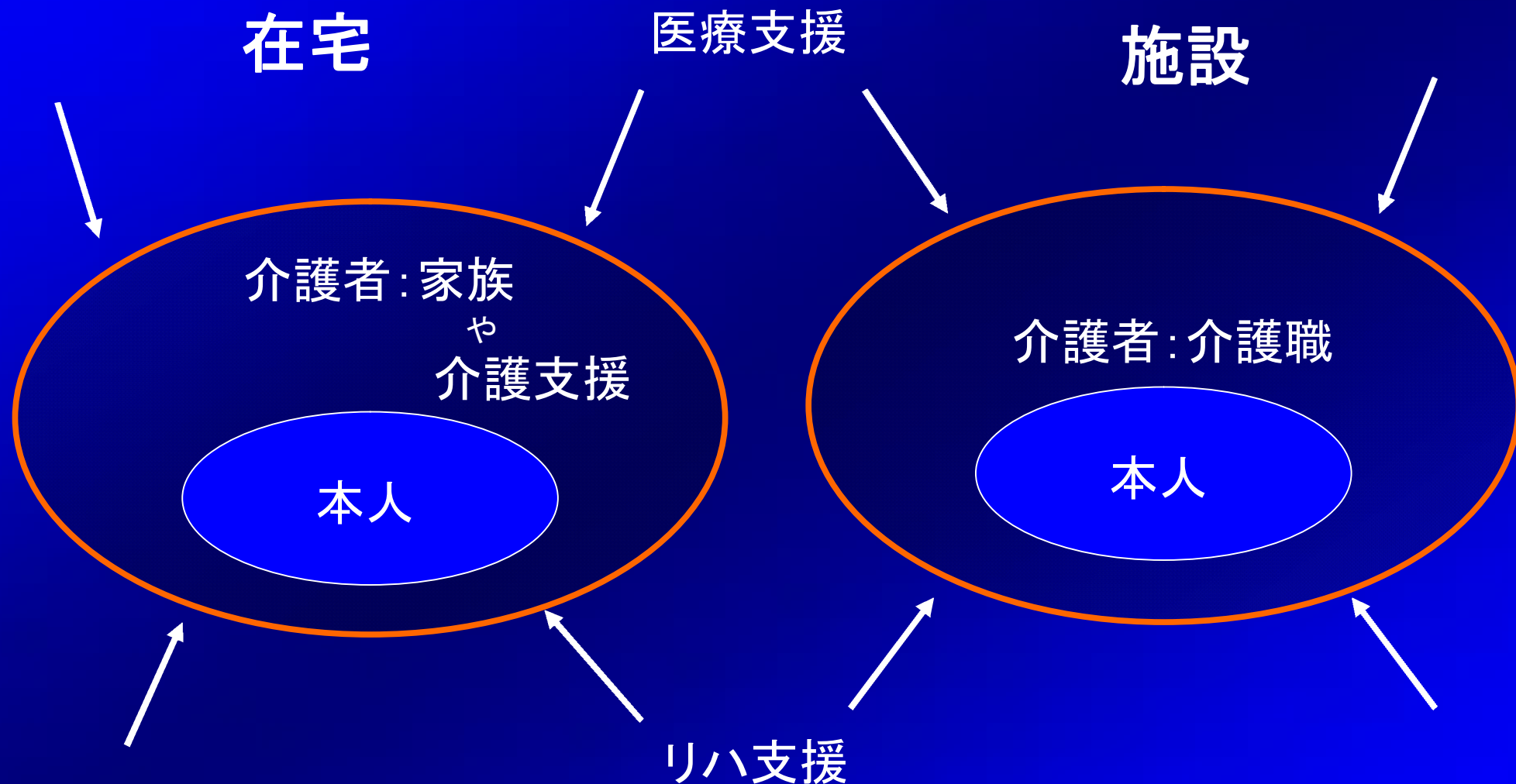
導尿(評価・間欠・留置)

薬処方

便の固さ

排便時間

「生活をつくり支える」



介護の方々のお役に立つ

セラピストのセルフチェック

対象者の排泄の問題に、
どの程度かかわっていますか？

生活にかけ離れたところで、
機能面やMAXばかり追い求めていますか？

「できるADL」と「しているADL」の解離が問題になりますが
棟や施設での生活」を共に創っていますか？

「病

退院後の「生活の青写真」を創っていますか？？

生活とは？
生活をつくり支えるとは？

自らの狭さを自問自答しつつ
求め続けていきたいと思っています

Ⅱ 連携に必要なこと

② しっかりとお役に立つこと

相手をしっかりと意識し、相手のお役にたつ

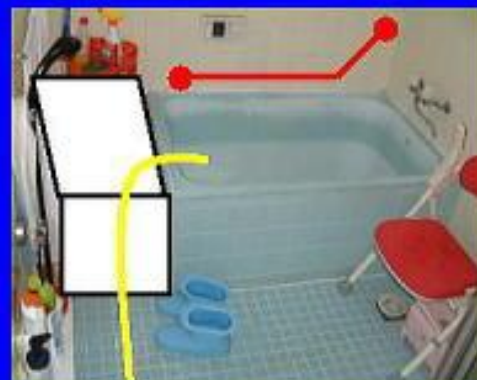
要求が先にたっては、連携は生まれない

お役に立ててなんぼ！ ＝ 腕が常に試されている！

検討前



再検討後



— 手摺 — 動線

改修後



Ⅱ 連携に必要なこと

③ 気楽に声をかけてもらう環境づくり

個人として
職場での部門として

病院・施設・事業所として
地域に対する役割を明確化(特化)
外向きの志向
いつでも地域に顔を出し、地域との関係作り
地域の相談にのれる体制
その為の、システム作りや人的投資

業界として
地域の足場作り



Ⅱ 連携に必要なこと

④ 自分に厳しく、他人に甘く

相手の状況や立場を理解すること
多様性を理解すること
何事もまずは自らの責任としてみつめること

『言うは易し、行ふは難し』

専門に特化



専門の表裏として限られた一部分

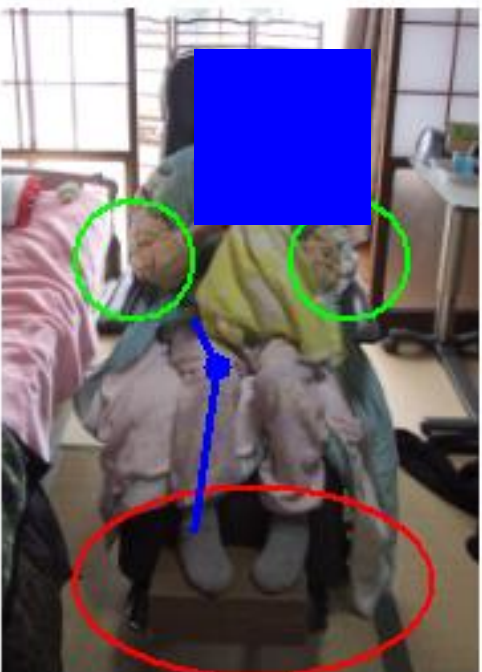


前提！：自分だけ自分達だけでは成しえない
みんなで一緒にやっていく

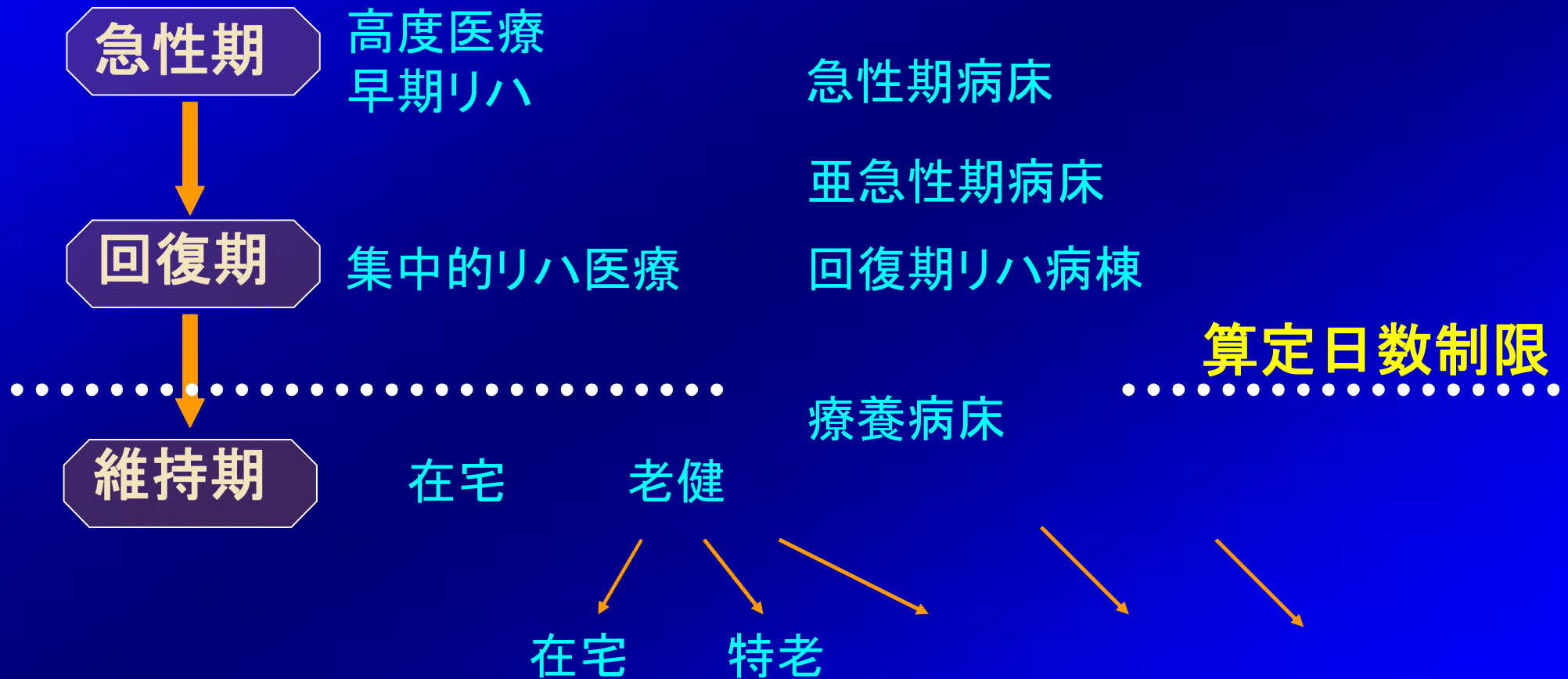
利用者が接着剤！

利用者や地域に対する「おもい」「責任感」が
つながりになると信じます

みんなで一緒にやってみよう
巻き込み上手ー！



専門分化・役割分化・機能分化



課題：役割を踏まえて特化
淀みない流れ
連携

最も滞る原因は、下流の停滞が上流に影響
そもそも流れに乗れずに、さまよう場合の多さ

（CVD、転倒骨折など急性発症系は要介護原因の38%）

地域リハ・地域ケアの強化が急務

地域リハ・地域ケアは
如何にあるべきなのか・・・

Ⅲ 望ましい 地域リハ・地域ケアの姿

地域リハビリテーション制度に関する意見 ～ 高齢者リハビリテーション研究会報告書を踏まえて ～

平成19年0月
0000

V 地域におけるリハビリテーションの体制作り

1. 高齢者リハビリテーション研究会報告書

- Q このように、これまでわが国に於いては、予防、医療、介護において一体となつて高齢者リハビリテーション体制構築の取組が図られてきているが、
- (1) 最も重要なリハビリテーションを必要とする高齢者のリハビリテーション体制が十分に作られていないこと
 - (2) 民間関係から必要が湧き出ているリハビリテーション体制が作られている場合があること
 - (3) 医療から介護への連続するシステムが構築されていないこと
 - (4) リハビリテーションとケアとの境界が明確に区別されておらず、リハビリテーションとケアとが混同して提供されているものがあること
 - (5) 在宅におけるリハビリテーションが十分でないこと
- などの課題があり、必ずしも満足すべき状況には達していない。そのため、今後の高齢者介護の基盤となるリハビリテーションの体制についての現状と今後のありべき姿の検討が求められている。今後、住民と地域において一体的に予防、医療、在宅介護への連携とその拠点を支えるようなリハビリテーション体制構築が政策的に図られていく必要がある。
- Q 地域によって、リハビリテーションを提供するような医療施設がなく、住民の地域から遠く離れた施設などでリハビリテーションを利用せざるを得ない状況もある。また、施設でのリハビリテーションを要し、在宅復帰する場合、在宅環境と施設環境でリハビリテーションが中断できず、また在宅用として地域にリハビリテーション提供体制が整備されていないといった状況がある。在宅の高齢者について、できるだけ住民の地域と在宅を結ぶよう、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションなどの在宅サービスを一元的に提供していくことが基本となる。
- Q これまで述べたように予防、施設サービス、訪問、通所（地域）、ショートステイ、看護用具・住宅改修といった在宅サービスは、利用者を中心として体系的に提供されるべきであり、そのために住民の地域と在宅の施設整備が必要となる。

- ②
地域リハビリテーション推進協議会
地域ケア整備費
費対による施設整備



大規模複合体モデル

+

小規模散在モデル

地域でのセラピストの足場作り

(小児・呼吸・難病など介護保険外の強化)

リハビリマネージメントの統合

地域連携パス

在宅生活移行支援の包括評価

情報コーディネート組織

総合ケアステーション

住み替え概念

■

■

小規模散在モデル

サテライトリハビリケアセンター構想

それぞれの地域の実情に合わせて組み合わせる小規模コンテンツ

短時間リハビリ特化型小規模通所介護

短時間介護予防特化型通所介護

認知症特化型小規模通所介護

療養通所介護

自立支援制度対応通所

色々な住まい

テクノエイドセンター

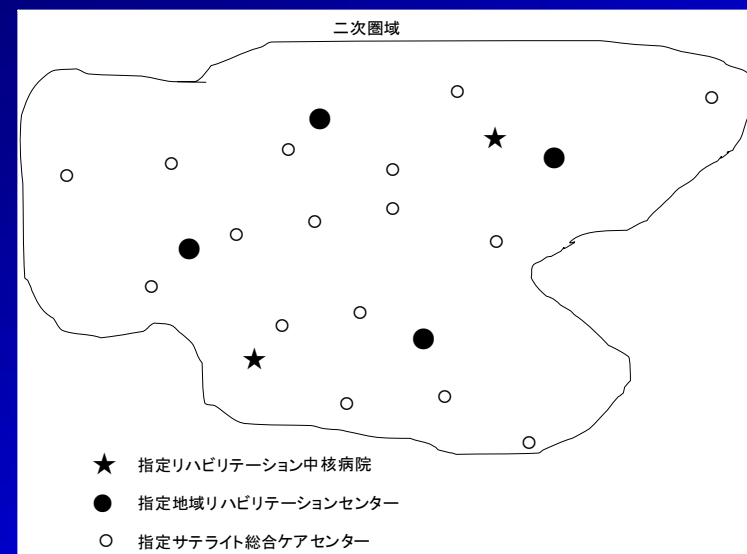
居宅介護支援

訪問看護ステーション

訪問介護ステーション

■

■



フォーレストが！ではない

おもいを同じくする地域の様々な法人と一緒に

サテライトリハビリセンターいずみ

- ・ 短時間リハビリ特化型小規模通所介護

- ・
- ・
- ・



シームレスケア (seamless care)

継ぎ目のない(包括的・継続的)ケアを皆様と共に



有限会社 在宅支援チームフォーレスト

<http://teamforest.hp.infoseek.co.jp/>

森林(forest)は多種多様な生物から構成され、一つの生態系を形づくりします。

森林の如く在宅生活を支える多種多様なネットワークの形成を願いつつ・・・

